

お困りのときは

湿度・温度モニターにお知らせ表示されたとき

お知らせ表示と内容	直しかた
集じんフィルターがセットされていません	集じんフィルターを取り付けてください。
加湿フィルターがセットされていません	加湿フィルターを取り付けてください。
振動センサーが感知しました	電源プラグを抜いて、約5秒待ってから再度差し直してください。 本体が転倒して水タンク内の水がこぼれている場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
ファン回転故障	電源プラグを抜いて、再度差し直してください。 それでも同じ表示がでた場合は、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。

修理を依頼される前に 次の点をもう一度確認してください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
風が出ない または、 電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●プレーカーが切れていませんか。 ●本体「電源」ボタンで電源を入れましたか。 ●集じん、脱臭、加湿フィルターは正しく本体に取り付けられていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。 ・プレーカーを入れます。 ・「電源」ボタンを押して電源を入れます。 ・正しく本体に取り付けてください。 → (P.14,15)
加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水ランプが点灯していませんか。 ●加湿お手入れランプが点灯していませんか。 ●湿度モニターが70%を表示していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水タンクに水を入れてください。→ (P.31,32) ・「お手入れのしかた」の「加湿お手入れランプ点灯のとき」をご覧ください。→ (P.28~31) ・湿度に応じた自動運転をしています。 → (P.20)
加湿お手入れランプが消えない	●電源プラグを抜いて、加湿お手入れランプのリセットをしましたか。	・電源プラグを抜くと加湿運転時間がリセットされ消灯します。→ (P.31)

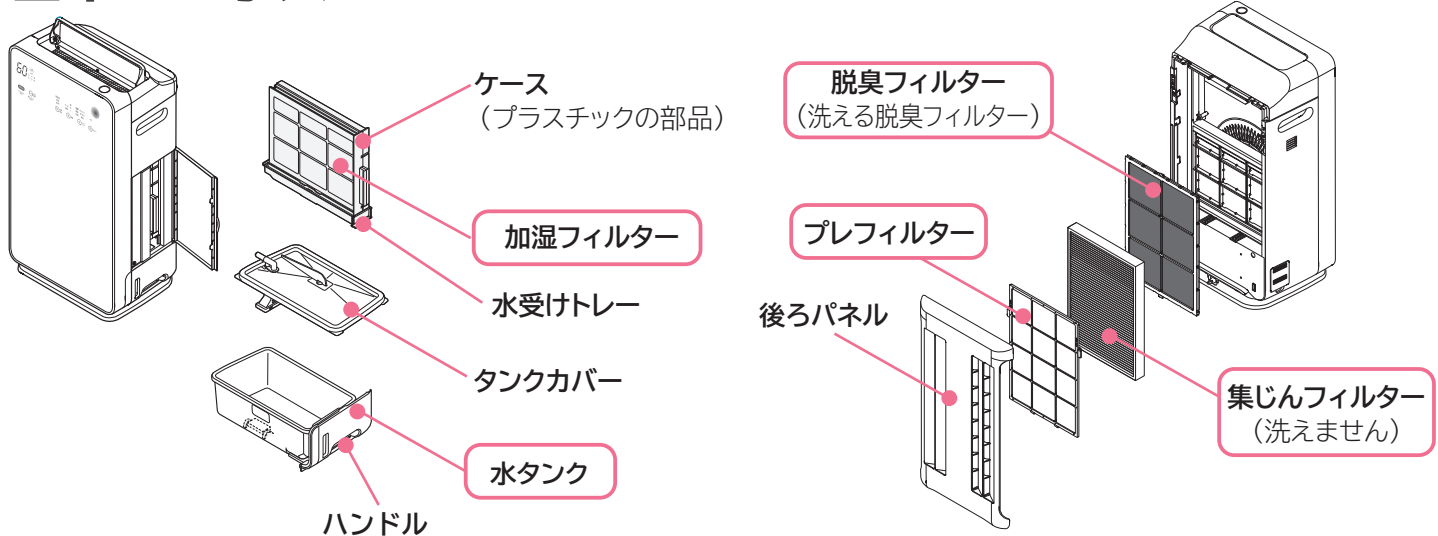
●上記の症状以外の場合は、取扱説明書の「修理を依頼される前に」をご覧ください。→(P.39~41)

こんなときは故障ではありません

こんなときは	原因(故障ではありません)
加湿運転中、肌保湿運転中に、ときどき「ウィーン」「ガラガラ」などの音がする	数分から十数分に一度、数秒間水タンクから水を吸い上げているときの音です。
湿度・温度モニターの表示値と、お部屋の湿度計・温度計の表示が異なる	湿度・温度モニターに表示される温度・湿度は目安です。また、室内の環境差により表示が異なる場合があります。

●上記の症状以外の場合は、取扱説明書の「こんなときは故障ではありません」をご覧ください。→(P.41,42)

基本のお手入れ



お手入れするときは

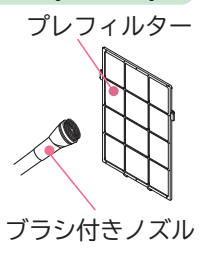
運転が停止していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜く

●運転中のときは、① 電源ボタンを押して、運転を停止してください。

●パネル、プレフィルター、集じん・脱臭フィルター、水タンクの取り外しかたは、カンタンご使用ガイドのP.2~4を参照してください。

プレフィルター (約1ヶ月に1回) → (P.34)

- 掃除機などでほこりを取り除く。
・掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。
- 汚れがひどい場合は、強い力を加えずに市販のやわらかいスポンジで水洗いをして、十分に水を切って、日のあたらない風通しのよい場所で乾燥させてください。

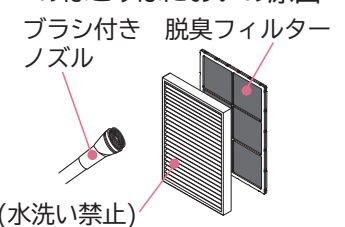


ご注意

- 掃除機の床用ノズルなどで強くこすったり、タワシでこすると表面のステンレスコーティングがはがれてしまいます。
- 洗剤は、使用しないでください。

集じん・脱臭フィルター (約1ヶ月に1回) → (P.34)

- 集じんフィルター、脱臭フィルターのほこりにはおいの原因になるので、掃除機などで取り除いてください。
・掃除機のブラシ付きノズルを軽く当ててほこりを吸い取ってください。

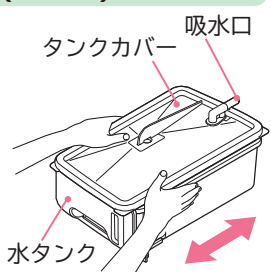


脱臭フィルター (約6ヶ月に1回以上) → (P.35)
脱臭性能を維持するため、こまめなつけおき洗いをおすすめします。

- 掃除機などでほこりを取り除く。
 - 水またはぬるま湯(約40℃)に約3時間程度つけおき洗いをします。
 - 陰干しで十分に乾燥させます。(風通しのよい場所で約1日)
 - ぬれたままでは使用しないでください。水滴がまだ残っている場合は、水滴をふき取ってください。
- 吹き出し口から、水滴が吹き出したり、脱臭効果が低下し、異臭の原因になります。

水タンク (毎日) → (P.32)

- 必ず1日1回は新しい水道水に交換してください。(タンクに水が残っている場合は捨ててください)
- 水道水を少量入れ、タンクカバーと水タンクをしっかりと押さえながら振り洗いをしてください。(水を入れ換えて2~3回)



ご注意

- 洗剤は使用しないでください。
- 水タンクの中には、フロートスイッチが入っています。無理な力が加わらないよう静かに振り洗いをしてください。

加湿フィルター (約1ヶ月に1回以上) → (P.29)

ケースから外さないでください。

- 水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをします。
- 新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)
- 軽く振って水を切ります。(水がしたたり落ちない程度)水あかが落ちにくいときはクエン酸をご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。→(P.29)

日立 **加湿** 空気清浄機 クリエア EP-LVG70

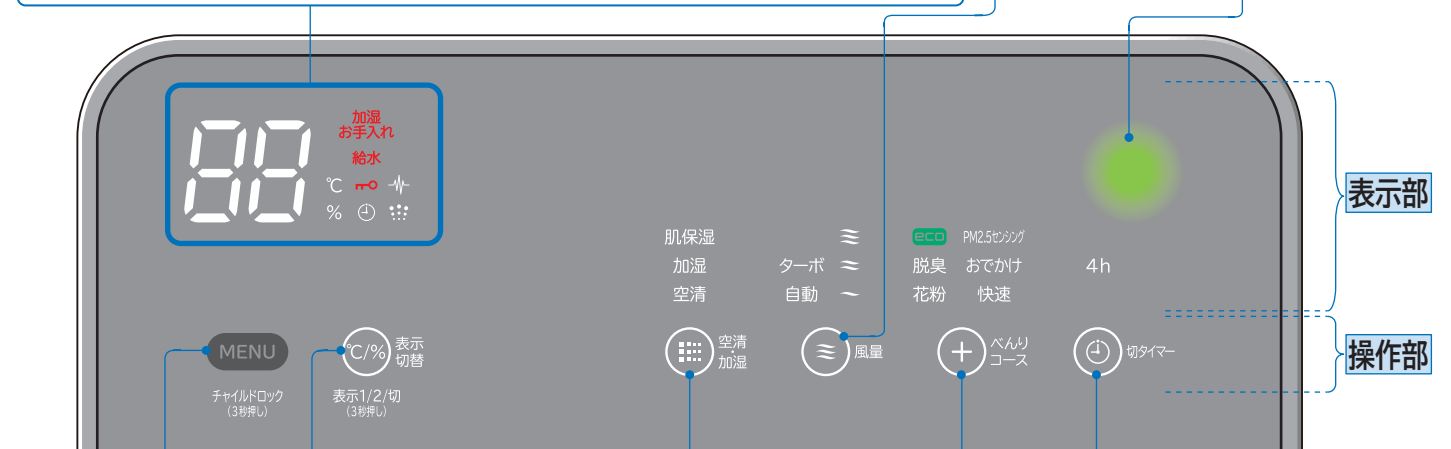
カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
→(P.00)：このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

タッチ操作部のはたらき

- すべての運転モードにおいて、空気清浄機能が働いています。
- タッチ操作部は、ガラスタッチ式です。
- タッチ操作部の表示が消灯している場合は、**MENU** をタッチするとタッチ操作部が表示されます。再び **MENU** をタッチするとタッチ操作部の表示が消灯します。
- タッチ操作部は上段が表示部、下段が操作部です。
- タッチ操作部にタッチして設定を切り替えてお使いください。

お知らせ表示	
湿度・温度モニター	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中、お部屋の温度または湿度を表示します。あくまでも目安です。→ (P.26) ●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。例：[!、F] など
加湿 お手入れ	加湿フィルターのお手入れ時期をお知らせします。→ (P.28~31) (点灯後に電源プラグを抜くとリセットされ消灯します)
給水	水タンクの水が少なくなるとお知らせをします。→ (P.31, 32)
⌚	切タイマー設定をお知らせします。→ (P.24)
🔒	チャイルドロックを設定したときに点灯します。→ (P.25)
PM2.5	PM2.5センシング設定をお知らせします。→ (P.24)
☁️	加湿、肌保湿運転モードをお知らせします。→ (P.20)



MENU	表示切替	空清・加湿 → (P.20)	切タイマー → (P.24)
●表示部・操作部の表示が消えている場合は最初にタッチします。	●温度・湿度モニターの表示を切り替えます。→ (P.24)	●運転モードを切り替えます。	●切タイマーを設定するときに操作します。
●チャイルドロック (MENUを約3秒長押し) 誤操作を防止したいときに操作します。→ (P.25)	●タッチ操作部の表示内容を切り替えます。(表示切替を約3秒長押し) → (P.19)	べんりコース → (P.22)	
		●べんりコースを選ぶときに操作します。	

お知らせ

- ガラスタッチ式は、周囲の温度・湿度、お使いいただく方の体調、隣接する電気製品の動作状態により反応が変わる場合があります。
- タッチしても反応しないときは、一度指を離して再びタッチしてください。タッチとタッチの間隔が短いと誤反応する場合があります。強くタッチしても感度は変わりません。
- 操作部がぬれていたり汚れていたりすると、反応しない場合があります。乾いた布でふき取ってください。
- 日の当たる窓の近くなどの明るい場所では、表示が見にくくなります。

運転前の準備

- ご注意**
- キャスターによる移動はゆっくり動かしてしてください。また、移動は横方向のみです。(転倒防止のため)
 - ポリ袋に入れたままフィルターをセットしても、清浄効果は得られません。また故障の原因になります。
 - 本体を倒したり、傾けたりしないでください。

フィルターを本体にセットする →(P.14~15)

1 後ろパネル、プレフィルターを取り外す

- 1 本体を水平で安定した場所に置きます。
- 2 後ろパネルの下側(2か所)に指をかけて、ゆっくり手前に引き、上側へ少しずらして交互に取り外します。
- 3 つまみ(2か所)を上へスライドしてロックを外します。
- 4 プレフィルターを取り外します。

2 フィルターを取り外す(集じん用と脱臭用があります)

- 1 本体内から集じんフィルターを取り外します。
- 2 脱臭フィルターを取り外します。
- 3 フィルターをポリ袋から取り出します。

3 脱臭フィルターを本体に取り付ける

- 1 ラベルの脱臭フィルターセット位置にセットしてください。
- 2 本体のつめを上へ押しながら脱臭フィルターをセットして、脱臭フィルターのつめを本体のつめに引っ掛けてください。

ご注意

- フィルターは必ずポリ袋から取り出してください。
- フィルター前面は、布や紙などでふさがらないでください。

4 集じんフィルターを本体に取り付ける

ご注意

- 集じんフィルターに無理な力を加えて変形させないでください。変形してつぶれると集じんフィルターを検知できず温度・湿度モニターに「E1」と表示され運転できません。

フィルターを本体にセットする(続き)

5 プレフィルターを本体に取り付ける

- 1 プレフィルターのつめを本体の差し込み穴に確実に差し込みます。
- 2 つまみ(2か所)を下側にスライドしてロックします。
- 3 プレフィルターを軽く引き、外れないことを確認します。

6 パネルを本体に取り付ける

- 1 後ろパネルの上側のつめ(2か所)を本体の差し込み穴に差し込みます。
- 2 パネル下部左右を交互に静かに押して、カチッと音がするまで確実に閉じます。

7 加湿フィルターをセットした水受けトレイが本体に取り付けられていることを確認する

- 加湿フィルターを取り付けないと温度・湿度モニターに「E2」と表示され運転できません。

注意

- 加湿フィルターは、本体の奥まで押し込んで確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと、運転中に水が漏れる原因になります。また、本体が動かないように押さえながら取り付けてください。

引っ掛かる恐れがありますので、ゆっくり差し込んでください。

幅の広い方を合わせてセットする

水タンクに水を入れる(「加湿」、「肌保湿」運転モードで運転するとき) →(P.16~17)

1 本体から水タンクを取り出す

- 水タンクのハンドルに手を掛けて、少し持ち上げながら静かに引き出します。

ご注意

- 本体から水タンクを取り出す際は、本体底面にキャスターが付いていますので、動かないように本体を押さえながら、静かに引き出してください。(キャスターにストッパーはありません)

2 水タンクからタンクカバーを外す

ご注意

- タンクカバーを外すときは、指先や爪をいためないように注意してください。
- 水タンクフィルターに無理な力が加わらないようにしてください。破損すると水を吸い上げることができなくなります。

水タンクに水を入れる(「加湿」、「肌保湿」運転モードで運転するとき)(続き)

3 水タンクとタンクカバーを水ですすいで、フロートスイッチの動作を確認する

- 水道水で2~3回すすいでください。洗剤は使わないでください。
- フロートスイッチが上下に動くことを確認してください。

注意

- フロートスイッチを外したり、無理な力が加わらないようにしてください。「給水」を検出できなくなります。

4 水タンクに水を入れて、タンクカバーを取り付ける

- 水タンク側面の線を超えないように水を入れてください。
- 水タンクのまわりに付いた水気は、ふき取ってください。
- 水タンクに水を入れて持ち運ぶときは、タンクカバーを取り付けて、しっかり持ってください。

注意

- 給水位置の線を超えて水を入れると、水漏れの原因になります。
- タンクカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと運転中に水が漏れる原因になります。

線を超えないように水を入れてください。

5 本体に水タンクを取り付ける

- 水タンクを取り付ける際、水タンク収納部(内部)に水が落ちていない場合は、ふき取ってください。

注意

- 水タンクは、本体の奥まで押し込んで確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと、運転中に水が漏れる原因になります。また、本体が動かないように押さえながら取り付けてください。

ご注意

- 水タンクに水が入っていると重いので、指先や爪、腰などをいためないようにご注意ください。

運転を始める

1 電源プラグをコンセントに確実に差し込む →(P.18)

2 電源ボタンを押す →(P.18)

停止する場合は、運転中に電源ボタンを押す

一旦全ての表示が点灯後、運転モードの「空清」「自動」ランプが点灯します。

●最初の3分間はお部屋の空気の状態を調べて記憶します。その間「クリーンモニター」が緑色に点滅します。